

●社名・英語表記あり

RISTEX 社会技術研究開発センター
Research Institute of Science and Technology for Society
「社会的養護経験者（ケアリーバー）
の社会的孤立を防ぎ、
支援と繋がりながら自立を支える仕組みを創る」プロジェクト



参加費
無料

第2回 公開セミナーin福島

一緒に学ぼう！考えよう！

ケアリーバー(社会的養護経験者)の 自立を支える仕組みについて

社会的養護経験者とは、何らかの理由で児童養護施設や里親等で養育されている、もしくは養育された方々のことです。

2020年度に国が行った初めての実態調査では、ケアリーバー（社会的養護経験者）が「孤立している実態」や「長期的な見守り・支援に向けた課題」が明らかとなりました。また、支援者とのつながりが途切れている状況が浮き彫りになりました。

このプロジェクトは、インケアからアフターケアへの切れ目のない支援を可能にするための仕組みの構築を目標として、2022年10月からスタートしました。

今回の公開セミナーは昨年に引き続き2回目の開催となりました。皆様と一緒に、社会的養護経験者の子どもたちの自立を支える仕組みづくりについて考えていきたいと思っております。

日時

2024年12月15日(日)

12:20～16:30 (12:00開場)

場所

福島学院大学 駅前キャンパス
5F 516教室 (福島市本町2-10)



内容

第1部 シンポジウム
「社会的養護経験者と支援者との繋がり」
第2部 講演
早川悟司氏 (社会福祉法人子供の家 本部・理事)

対象

社会的養護経験者、社会的養護に関心のある市民、
専門家、研究者 定員 70名 (先着順)

申込

申込締切 令和6年12月6日(金)
申込フォーム (URLまたはQRコード) よりお申込みください。
<https://forms.gle/zLJsBjZiQjcQCghA8>



主催 福島大学「社会的養護経験者の社会的孤立を防ぎ、支援と繋がりながら自立を支える仕組みを創る」研究班

お問い合わせ：安部郁子研究室 (福島大学人間発達文化研究科)
abeikukokokenkyu713@gmail.com

プログラム 2024年12月15日(日)

【総合司会：鈴木 勝昭 氏】

12:20～12:30 開会・趣旨説明・ご挨拶

安部 郁子

(プロジェクト福島グループリーダー・福島大学人間発達文化学類 特任教授)

12:30～14:15 第1部 シンポジウム

「社会的養護経験者と支援者との繋がり」

座長：安部 郁子

シンポジスト (社会的養護経験者・支援者)

・坂本 いつか 氏

・氏家 るな 氏

・遠藤 嘉邦 氏 (福島愛育園 園長)

・山口 健 氏 (光明童園 副園長)

コメンテーター

・辻井 正次 氏 (中京大学現代社会学部 教授)

・堀 浄信 氏 (九州地区児童家庭支援センター協議会 会長
社会福祉法人光明童園 理事長)

14:15～14:45 きずなコネットアプリ概要説明

宮地 菜穂子 氏

(プロジェクト代表者・同朋大学社会福祉学部 准教授)

..... (休憩)

15:00～16:15 第2部 講演

「子ども・若者の移行期を支えるための制度、政策の動向と対応

～社会的養護自立支援拠点事業・児童自立生活援助事業等について

わかりやすく解説します～」

早川 悟司 氏 (社会福祉法人子供の家 本部・理事)

16:15～16:30

質疑応答

※本取り組みは、国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) 社会技術研究開発センター (RISTEX)より支援を受けた「SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム (社会的孤立・孤独の予防と多様な社会的ネットワークの構築)」研究開発プログラム「社会的養護経験者 (ケアリーバー) の社会的孤立を防ぎ、支援と繋がりながら自立を支える仕組みを創る」プロジェクトにて実施するものです。